

2012年 麻しん排除に向けて

■ 麻しん感受性者への接種機会の拡大

麻しん感受性者に対する2回目接種の確保

- ・定期接種化(法の整備、予算措置)
- ・接種の呼びかけ(学校、テレビ、新聞などを通して広報)

■ ワクチンの安定供給体制の確保

有効期間は1年、余ったワクチンは使われず廃棄される。
ワクチンが余らず対象者への接種が履行されれば、
感染症対策の成功と効率的ワクチン利用の両立

- ・有効期間1年以内に使用される有効な施策
(各社は前年供給量をベースに生産量を決定)
- ・接種対象者とキャンペーン時期の意志決定
(通年? 集中実施?)
- ・国家検定体制のさらなる充実
(増産時における試験処理能力の確保)

5

終
終
終

6